

CASE
09

河川の現場打ち堰堤工

工事内容：既存の河川の中に、場所打ちの堰堤を構築

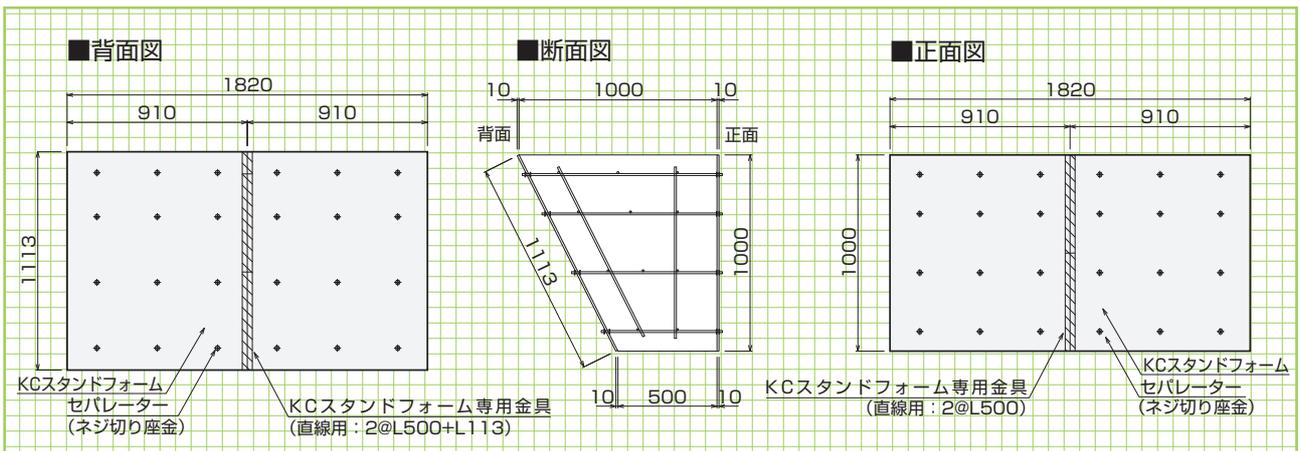
残存型枠の採用理由

既存の河川の中に、場所打ちの堰堤を構築する工事。水中で型枠を組む必要があり、スタンドフォームが採用になりました。堰堤の高さは1mで、今回の施工延長は118mです。

製品名：KCスタンドフォーム 910×10×1000
 : KCスタンドフォーム 910×10×1113
 数量：各130枚ずつ、計260枚
 工事名：蓼川堰地区 蓼川堰改修第3工区工事
 発注者：兵庫県但馬県民局 豊岡土地改良センター
 担当営業所：大阪営業所



埋設型枠（幅1000/500×高1000×長1820）参考組立図



組み立てたスタンドフォームを、水中に設置して水中コンクリートを打設します。

残存型枠組立状況



残存型枠設置状況



水中コンクリート打設完了



残存型枠設置完了



水中コンクリート打設状況



注意

- 施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社または販売代理店にご相談ください。
- 特殊な条件で使用される場合には、事前に弊社の担当者にご相談の上、技術的な確認を行ってください。

インフラテック株式会社

本社

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-7-25
 Tel.099(252)9911 Fax.099(259)4100
<http://www.infratec.co.jp/>